

バランスシートの分析

◆ 資産総額は2,057億円

バランスシートによると、市が保有している資産の総額は2,057億円、負債が702億円、正味資産が1,355億円となっています。

資産の内訳は、道路・学校などの有形固定資産（減価償却後）が1,870億円で資産の約91%を占め、残りが現金および預金や基金・未収金など187億円です。資産は、昨年度と比べて44億円の減となっています。なお、土地は346億円で有形固定資産の約18%を占めています。

負債の内訳は、1年を越えて返済しなければならない固定負債が644億円、1年以内に返済しなければならない流動負債が58億円となっており、負債は、昨年度と比べて24億円の減となっています。

正味資産の内訳は、国や県からの補助金が581億円、市独自の財源である市税などの一般財源が774億円です。正味資産は資本全体の約66%を占めています。

平成18年度		➡	平成19年度	
資産 2,101億円 (205万円)	負債 726億円 (71万円)		資産 2,057億円 (202万円)	負債 702億円 (69万円)
	正味資産 1,375億円 (134万円)		正味資産 1,355億円 (133万円)	

()書きは
市民一人当たり

行政コスト計算書の分析

◆ 行政コストは434億円

行政コスト計算書によると、行政コストは434億円、収入は401億円、収入コストの差引額は33億円となっています。

行政コスト項目の内訳は、職員の雇用など「人にかかるコスト」が112億円、施設の保守や維持など「物にかかるコスト」が159億円、ほかの団体に対する補助など「移転支的的なコスト」が141億円、災害復旧や借金の利子返済など「その他のコスト」が22億円となっています。

収入項目の内訳は、公共施設の使用料など使用料・手数料等が33億円、国・県の補助金など国庫（県）支出金が67億円、市税などの財源収入である一般財源が301億円となっています。

平成18年度		➡	平成19年度	
行政コスト 423億円 (41万円)	収入 379億円 (37万円)		行政コスト 434億円 (43万円)	収入 401億円 (40万円)
	収入コストの差引額 44億円 (4万円)		収入コストの差引額 33億円 (3万円)	

()書きは市民一人当たり

